

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷三第

行發日一月二十年五正大

論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(一)

戸田 海市

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(三、完)

神戶 正雄

參觀交代制度ノ經濟觀(二)

本庄 榮治郎

『座』ノ研究(三)

三浦 周行

代表紙幣ト獨立紙幣(三、完)

作田 莊一

雜錄

公營運物ニ關スル美濃部、織田、松本三博士ノ
所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(三、完)

福田 德三

戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戶 正雄

簡易保險更張ノ一方面

財部 靜治

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二)

山本 美越乃

人口ト勞銀ノ趨勢

高田 保馬

經濟雜話(六)

田島 錦治

經濟漫錄(三)

瀧本 誠一

金井法學博士在職二十五年祝宴記事

田島 錦治

社會政策學會第十回大會記事

河上 正雄

京都法學會大會記事

河上 正雄

歐洲ニ於ケル工場監督
機關ニ就テ(二)

山本美越乃

一國ノ勞力保全ノ目的ハ工場法其ノ他ノ勞働保護ニ關スル法規ノ完成ノミニ依リテ達セラレベキモノニ非ズシテ、寧ロ是等ノ法規ノ運用ノ巧拙及其ノ實際上ニ於ケル活用ノ程度如何ニ依

リテ決セラルベキモノナリ、之ヲ先進工業國ノ實驗ニ徴スルモ、國法上勞働保護ノ規定ヲ設ケタルハ今ヨリ凡ソ一世紀前ノコトナリト雖ドモ、是等ノ法規ヲ運用スベキ所謂工場監督機關ナルモノノ完成ヲ見ルニ至ル迄ハ、多クハ徒法空文ニ終リタルヲ以テモ之ヲ證スルコトヲ得ベシ、例ヘバ英國ニ於テハ勞働保護法ハ一八〇二年ノ徒弟ノ保護ニ關スル條例ヲ以テ嚆矢トナシ、爾來一八一九年・二五年及三一年等ニ保護法令ヲ發布ヲ見タリト雖ドモ、一八三三年ニ工場監督ノ制度ヲ設クルニ至ル迄ハ其ノ實效ヲ擧グルコト能ハズシテ止ミ、佛國ニ於テモ勞働ノ保護ニ關スル條例ハ一八〇六年ニ初メテ發布セラレ、其ノ後一八一三年・一四年・四一年・四八年・五一年及六六年等ニ相次デ法令ヲ發布シタルモ一八七四年ニ勞働監督機關ノ設置セララル迄ハ、保護ハ單ニ其ノ名ノミニ止マリ、獨逸ニ於テハ一八三九年ニ初メテ少年勞働者ノ工場使傭ニ關スル規定ヲ設ケ、次デ一八四五年・五二年・六一―二年及六九年等ニ工業法ノ發布ヲ見タル

モ、一八七八年ニ是等ノ法規ノ實行ヲ監視スベキ特別ノ機關ヲ設クルニ至レル迄ハ、殆ンド有名無實ニ終リ、奧太利ニ於テモ既ニ一七八六年以後勞働保護法ノ制定ニ苦心シ、一七八七年・一八〇五年・一六年・四二年・四六年・五四年及五九年等ノ法令ニ依リテ漸次保護規定ヲ完成シタルモ、一八八三年ニ勞働監督機關ノ設ケラルルニ至ル迄ハ、其ノ效果頗ル薄ク、瑞西ニ於テモ各聯邦ハ夙ニ勞働保護法ヲ制定シタルモ、其ノ實際上ノ效果ヲ生ズルニ至レルハ一八五九年つゝりひニ特別ノ監督機關ヲ設ケ、次デ一八七七年ニ聯邦工場監督機關ノ設置セラレタル以後ノコトニ屬シ、其ノ他各國ノ勞働保護ニ關スル法令ハ何レモ皆監督機關ノ完成ヲ待テ初メテ其ノ目的ヲ達シタルコトヲ事實上ニ證明シツツアリ。

此ノ如ク工場監督機關ノ完否ハ勞働保護法ノ死活ヲ制スル重大問題ナリト雖ドモ、單ニ斯カル機關ヲ設クルノミニテハ未ダ以テ足レリトセズシテ、該機關ノ有スル權限・其ノ監督方法・監督者ノ人物・員數及他ノ機關ニ依リテ與ヘラルル

援助ノ程度等ハ、更ニ勞働保護法ノ運用ニ至大ノ關係ヲ有スルガ故ニ、工場監督機關ノ設置ト共ニ又是等ノ諸點ニ關シテ不斷ノ注意ト研究ヲ加フルニ非ズンバ、到底法規ノ活用ヲ完カラシムルコト能ハズ。我ガ工場法ノ如キモ前後殆ンド三十年間ノ長日月ヲ閱シテ漸ク實施セラレ、之ト共ニ工場監督機關モ亦其ノ自然ノ必要上之ガ設置ヲ見ルニ至リタリト雖ドモ、由來我ガ國民ハ企業者タルト勞働者タルトヲ問ハズ、一般ニ規律的ノ訓練ニ乏シキト、之ガ監督ノ任ニ當ル者モ往々法規ノ命ズル一小天地ニノミ踞蹠シテ、深ク其ノ精神ノ存スル所ヲ探求セズ、從テ變通自在ノ法ノ妙用ヲ缺クガ如キ憾ミナシトセズ、固ヨリ實施後日尙ホ淺キ實驗時代ニ於テハ何レノ國ニ於テモ亦如何ナル法規ト雖ドモ、一ト度ハ斯カル試練ヲ經ザルベカラザルガ故ニ、之ニ對スル非難ハ必ラズシモ多ク意ニ介スルニ足ラズト雖ドモ、政府當局及直接法規ノ運用ニ關與セル者ハ、之ニ籍口シテ現狀ニ安ズンズベキニ非ズ、如何ニ完備セル法規ト雖ドモ其ノ運用

ヲ監視スベキ機關ニシテ不完全ナランカ、法ノ效力ハ其ノ大半ヲ失フニ至ルベキコトハ、既ニ各國ノ實驗上明カナリトセバ、法規ノ不備ナル點ニ於テハ殆ンド他國ニ其ノ類例ヲ求ムベカラザル我ガ工場法ノ如キハ、殊ニ監督者其ノ人ヲ得テ此ノ不備ヲ補充セシムルニ非ザルヨリハ、何ソズ斯法制定ノ目的ヲ遺憾ナク貫徹セシムルコトヲ得ンヤ、此ノ如クニ考察シ來ル時ハ、苟クモ勞働保護ノ必要ヲ認ムル以上ハ、工場監督機關ノ完成ハ頗ル重大ナル研究問題タルニ拘ハラズ、從來我ガ國ニ於テハ未ダ多ク識者ノ注意ヲ惹カザルモノノ如シ、吾人ハ平素此ノ種ノ問題ニ多少興味ヲ感ジツツアルヲ以テ、左ニ一四一年合衆國勞働統計局刊 “Administration of Labor Laws and Factory Inspection in Certain European Countries” ヲ基礎トシ他ニ二三ノ參考書ヲ探リテ、歐洲ニ於ケル工場監督制度ノ一斑ヲ紹介シ以テ大方ノ參考ニ資セント欲ス。

(一) 工場監督機關ノ組織 工場監督機關ノ組織ハ固ヨリ國ニ依リテ異ナレリト雖ドモ、之ヲ大別

スル時ハ、(イ) 中央統一制(英國ハ其ノ著例) (ロ) 地方分權制(普魯西ハ其ノ著例) (ハ) 折中制ノ三種トナスコトヲ得ベシ、而シテ其ノ組織ノ異ナルニ從ヒ監督機關ノ權限ニモ亦自ラ差異アリ。例ヘバ中央統一制ヲ採用セル英國ノ如キハ最モ復雜シタル内部的ノ關係ヲ有シ、各監督官ハ專門的ニ各部門ヲ分擔シテ互ニ其ノ領域ヲ侵スコトナキニ反シ、地方分權制ヲ採用セル普魯西及其ノ他ノ國ニ於テハ、斯カル專門的ノ分擔制度ニ依ラズシテ、各監督官ハ復雜セル一切ノ監督事務ニ兼掌スルノ主義ヲ採レリ、換言セバ英國ニ於テハ中央ニ內務省所管ノ一ノ統一機關存シ、之ガ長官ハ工場監督ニ關スル一切ノ權限ヲ掌握シ其ノ下ニ各部ノ專門的ノ監督機關、各地方ノ監督機關、下級ノ監督機關等ヲ置キ、又其ノ職務ニ關シテモ先ヅ監督スベキ場所ヲ工場及仕事場ノ二種ニ分チ、更ニ工業ノ種類ニ應ジテ特別ノ監督機關(例ヘバ危險工業監督官、電氣工業監督官、織物工業監督官等ノ類) ヲ設ケ、互ニ相侵スコトナカラシム、然ルニ普魯西及瑞西等ニ於テハ

斯カル統一的ノ監督長官ヲ有セズ、從テ各地方ノ監督官ハ其ノ地方ニ於ケル長トシテ、自己ノ責任ヲ以テ當該地域内ニ於ケル一切ノ工場ニ對スル監督ヲ行フノ主義ニ依レリ、(普魯西以外ノ獨逸諸州ハ區々ニシテ、例ヘバばーでんノ如キハ有方ナル中央監督機關ヲ有スルモ、ばいゑるん及ざくせんノ如キハ折中主義ヲ採ル等州ニ依リテ一定セズ)、**奧太利**ニ於テハ商務省ノ所管ニ屬セル中央監督機關存シ、其ノ下ニ地方監督機關ヲ隸屬セシムルモ、地方監督機關ハ地方長官ノ指揮ヲ受クル制度ニ依ルヲ以テ、中央監督機關ノ權限ハ英國ノ如クニ大ナラズ、又普通ノ監督官ハ一切ノ監督事務ニ關與スルノ權ヲ有スルモ、或種ノ事業例ヘバ建築業・運送業等ノ如キニ對シテハ別ニ監督官ヲ設ク、**佛國**ニテハ中央政府ニ於ケル勞働局長工場監督ノ責任ヲ有スルモ、實際上ハ各部ノ監督官及其ノ下ニ各地方ノ監督官ヲ置キ、是等ノ機關ヲシテ自己ノ責任ヲ以テ監督事務ニ當ラシメツ、アリ。勞働ノ保護ハ全國ヲ通ジテ一様ナラシムルコトヲ要シ、

各地監督官ヲ異ニスルニ從ヒ又其ノ保護ノ程度ヲモ異ニスルガ如キハ、獨リ勞働階級ノ不幸タルノミナラズ、該地方ノ工業ノ發達上ニモ影響スル所頗ル大ナルヲ以テ、工場監督機關ハ全國ヲ通ジテ之ヲ統一スルノ必要アルコトハ多言ヲ須キズ、故ニ其ノ組織ニ關シテハ中央統一制ハ地方分權制ニ優レルコト遙カナリト言ハザルベカラズ。

(二)他ノ統治機關トノ關係 之ニ關シテモ亦各國其ノ制度ヲ一ニセズ、**佛國**及**白耳義**等ノ如キハ工場ノ監督ハ全然監督機關ニ一任シ、他ノ統治機關ノ與フル援助ハ唯僅カニ起訴及裁判事項ノミニ限ラル、ニ反シ、**英國**ニ於テハ各地方廳モ亦工場監督機關ト協力シテ勞働保護法ノ實行ニ努メ、殊ニ仕事場内ノ衛生事項ニ關シテハ周到ナル注意ヲ怠ラズ、然ルニ獨逸ニ於テハ勞働保護法ノ執行ハ實際上ハ(イ)工場衛生・安全及一般工業上ノ事項ニ關シテ監督權ヲ有スル工業監督機關(ロ)不慮ノ災厄ノ防止ニ關シテ責任ヲ有セル保險監督機關(ハ)一方ニ於テハ自ラ工場ヲ監

督シテ各種ノ統計的資料ヲ蒐集スルト共ニ他方ニ於テハ司法上及行政上ノ處分ノ強制ヲ掌ドル警察機關之ニ關與シ、瑞西ニ於テハ聯邦工場監督機關ト各州工場監督機關トノ間ニハ、明カニ管轄事務ノ分掌存シ、勞働保護法ノ強制ニハ寧ロ地方警察機關及各州官廳之ニ當リツ、アリ、奧太利ニ於テモ亦工場監督機關ト地方官廳トノ間ニ職務ノ分擔行ハレ、勞働保護法ノ強制及一般取締事項ハ地方官廳ノ責任ニ歸セシム。此ノ如ク勞働保護法ノ執行ニ關シテ諸種ノ機關ノ協力スルコトハ、一方ニ於テハ工場監督機關ノ負擔ヲ輕減セシメ、專心自己ノ管掌事務ニ注意セシムルコトヲ得ルノ利アリト雖ドモ、亦他方ニ於テハ各機關互ニ分立セルノ結果監督ニ關スル意見ノ一致ヲ缺キ、從テ相互ノ間ニ往々軋轢ヲ生ズルノ原因トナルコトアリ、故ニ他ノ機關ヲシテ協力セシメント欲セバ、少クトモ監督事項ニ關シテハ、最後ノ決定權ハ常ニ之ヲ專門ノ工場監督機關ニ與フルノ主義ニ出デザルベカラズ、然ラズンバ却テ保護法ノ實效ヲ妨グルノ虞

レアリ。

三) 特殊ノ工場監督機關 工場勞働保護ノ問題ハ衛生・保健及醫學上ノ諸種ノ問題ト最モ密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ、國ニ依リテハ特ニ此種ノ專門的知識ヲ有セル監督機關ヲ設クルモノアリ、例ヘバ英國及白耳義等ニ於テハ工場監督機關中ニ特ニ醫官部ヲ設ケ、學識及經驗ニ富メル醫學者ヲシテ之ガ長タラシメ、其ノ下ニ醫學上ノ知識ヲ有セル專門家ヲ隸屬セシメテ、工場勞働ニ伴フ特殊ノ疾病・危險及保健ニ關スル問題ヲ研究セシメツツアリ、然レドモ佛國・瑞西・奧太利・普魯西及獨逸聯邦ノ多クハ未ダ斯カル特殊ノ工場監督機關ヲ有セズ、唯瑞西ニ於テハ必要アル場合ニハ工場監督官ハ著名ノ醫師ノ意見ヲ聽キテ監督事務ヲ遂行シ、奧太利ニ於テハ醫學上ノ專門的知識ヲ有セル顧問ヲ置キテ其ノ意見ヲ徵スルコトトシ、普魯西ニ於テハ衛生上危險又ハ有害ノ虞レアル工場ノ監督ニハ先ヅ其ノ地方ノ醫師ヲシテ鑑定セシムルノ方針ヲ採レリ。要スルニ工場監督醫官ノ制度ハ、現今ニ於

テハ未ダ汎ク各國ニ採用セラルルニ至ラズト雖
ドモ、勞働保護ノ問題ヲ根本的ニ解決セント欲
セバ、斯カル特殊ノ機關ノ力ニ俟タザルベカラ
ザルモノ甚ダ多キヲ以テ、將來ハ慎重ナル攻究
ヲ要スベキ問題タリ、現ニ英・白等ノ實驗ニ徴ス
ルモ工場監督官ノ勞働保護問題ニ寄與シタル
功績ハ決シテ尠少ナリトセズ。

次ニ女子ヲ工場監督官トナスノ可否ニ關シテ
ハ、從來各國ニ於テ議論ノ存セシ所ナルモ、近
時ハ一般ニ女工ヲ使傭スル工場ノ監督者ハ又女
子ヲ以テ適任トナス說勝利ヲ制シ、英國ノ如キ
ハ既ニ二十名ノ女子監督官ヲ有スルノミナラ
ズ、彼等ハ男子ノ監督官トハ全ク分立シテ別ニ
一部ヲ形造リツツアリ、其ノ他ノ諸國ニ於テハ
佛國ハ十八名・奧太利ハ五名・白耳義ハ一名ノ女
子監督官ヲ置クモ、普魯西及瑞西聯邦ニ於テハ
未ダ女子ヲ以テ監督官トナサズ、英國以外ノ諸
國ニテハ女子監督官ノ職務ノ執行ハ、主トシテ
女工及幼少年工ヲ使傭セル小工場ニ限ラレ、又
其ノ地位ハ一般ニ男子ノ監督官ニ比較スル時ハ

低位ニ在リ。女子ハ其ノ性質上男子ヨリモ細心
ノ注意ヲ怠ラザルヲ以テ、女工及幼少年工ヲ使
傭セル工場ニ於テハ、女子ノ監督官ハ男子ノ監
督官ニ比シテ遙カニ勞働者ノ境遇及彼等ノ希望
ヲ理解シ得ルノ便アリ、故ニ相當ノ資格ヲ有ス
ル者ハ女子ト難ドモ特殊勞働ノ監督ノ任ニ當ラ
シムルニ於テ毫モ不可ナル理由アルヲ見ズ。*

然レドモ勞働者中ヨリ工場監督官ヲ採用スル
ノ可否ニ關スル議論ハ、女子監督官ノ可否問題
ヨリハ一層重大ナル問題トシテ勞働階級間ニ熱
心ニ論議セラレ、工場勞働ニ多事ノ經驗ヲ有シ
且ツ人格優秀ナル勞働者ヲ最初ハ下級ノ監督官
トナシ、漸次之ヲ上級ノ監督官ニ採用スルノ途
ヲ開クベシトノ議ハ、從來各國ノ勞働階級間ニ
於ケル有力ナル一主張タリト雖ドモ、之ニ對シ
テハ又政府當局及現在ノ監督官中ニモ反對ノ意
見ヲ有スル者尠ナカラズ、蓋シ工場監督ノ任務
ハ業主及勞働者ノ双方ニ對シテ極メテ公平ナル
地位ニ立チ、公平ナル意見ヲ有セル者ニアラザ
ルヨリハ、其ノ實績ヲ擧グルコト難キヲ以テ、反

* Philipovich, Volkswirtschaftspolitik, 1. Teil (1910), S. 264.

對說ハ相當ノ理由ナキニアラズト雖ドモ、若シ其ノ人格・教育及訓練等ニ於テ監督官タルニ適スル者アラバ、勞働者タルノ故ヲ以テ妄リニ之ヲ拒否スベキニ非ズト信ズ。英國ニ於テハ工場監督機關ヲ上下二級ニ分チ、下級ノ監督機關ハ勞働階級中ヨリ之ヲ選任スルノ方針ヲ採リ、其ノ數既ニ五十餘名ノ多キニ達シツツアリ、固ヨリ是等ノ下級監督者ノ地位ハ、普通ノ監督官ニ比較スル時ハ凡テノ點ニ於テ劣レリト雖ドモ、其ノ成績ハ必ラズシモ反對論者ノ憂フルガ如クニ劣等ナリト稱スルヲ得ズ、**埃太利**及**白耳義**等ニ於テモ亦勞働階級中ヨリ工場監督者ヲ採用シテ特別ノ任務ニ當ラシメツツアルモ、**獨逸**ニ於テハ聯邦中少數ノ邦ヲ除ク外ハ未ダ廣ク此ノ制度ヲ實行スルニ至ラズ、**佛國**及**瑞西**等ニ於テモ亦同ジ。***

大過ナキ限りハ成ルベク永續シテ其ノ地位ヲ保有セシムルノ方針ヲ採レリ、而シテ採用年齢ハ通常二十五歳以上(英國ハ三十歳以上)ニシテ嚴重ナル準備的教育ノ完了ヲ必要トス、此ノ如ク相當ノ準備ト専門的知識ノ修得ヲ必要トナスガ故ニ、年少者又ハ中年ニ至リテ他ノ職業ヨリ轉セントスルガ如キ者ニハ殆ンド採用ノ途ナシ。工場監督官ノ候補者ノ選定ニ關シテハ、各國共ニ科學的知識・技術的訓練及其ノ他ノ必要ナル資格以外ニ最モ人格ニ重キヲ置キ、苟クモ人格上ニ缺クル所アル時ハ假令他ノ要件ヲ完全ニ具備セル者ト雖ドモ斷ジテ之ヲ採用セズ、英國ニ於テハ工場監督長官又ハ其ノ代理官ハ豫メ候補者ノ人物及資格ニ關シテ精密ナル調査ヲ遂ゲ、更ニ親シク之ト接見シテ受験資格ノ有無ヲ定メ、然ル後任用試験ヲ施行シテ其ノ採否ヲ決スルノ主義ヲ採リ、**獨逸**ニ於テハ任用試験施行前ニ候補者ノ資格ヲ具シテ大臣ノ承認ヲ經ルヲ要シ、**埃太利**ニ於テハ資格審査委員ヲ任命シテ之ニ全權ヲ托シツツアリ、此ノ如ク監督官ノ

* 例之 Baden, Bayern, Hessen, Bremen, Sachsen, Elsass-Lothringen, Württemberg 等

** Philippovich, a. a. O. S. 264.

採用ニハ各國共ニ頗ル慎重ノ注意ヲ加フルヲ以テ其ノ結果ハ甚ダ良好ナリトス、人物試驗以外ノ試驗ニ關シテハ國ニ依リテ異ナリ、普魯西及多數ノ獨逸聯邦諸州ニ於テハ高等ナル技術上ノ訓練ニ重キヲ置クガ故ニ、獨逸ノ工場監督官ハ歐洲各國ノ監督官中最モ技術的ノ知識ニ富メリ、然ルニ英國ニ於テハ監督官中ニ技術者モ固ヨリ少ナリラズト雖ドモ、一般ニ之ヲ論ズル時ハ採用ノ標準ヲ技術的知識ノ多少ヨリハ、寧ロ道義的觀念ノ強弱ニ置カントスルモノノ如シ、佛國ノ制度モ亦英國ニ似タルモ、英國ヨリハ多少技術的方面ニ重キヲ置キ、殊ニ競争試驗ニ於テハ技術上ノ知識ハ最モ重要ナル一科ヲ成セリ、奧太利ニテハ工場監督官ハ機械・化學及電氣ノ三専門家ニ分レ、技術家以外ノ者ハ其ノ數多カラズ、白耳義ニ於テハ特ニ任用試驗ヲ行ハズシテ候補者中ヨリ大臣之ヲ選任ス、但シ其ノ多クハ技術家・社會的事業ニ従事セル者若クバ勞働者中ノ老練家ヨリ採用セラル、瑞西ニテハ監督官ノ員數ハ比較的少ク、主トシテ機械・化學・電

氣等ノ専門家ヨリ選任セラル、任用試驗ノ最モ嚴ナルハ普魯西・さくせん及佛國等ナリトス。

監督機關ノ組織ニ關シテ地方分權制ヲ採用セル國ニ在リテハ、監督者中ニ職務ノ分擔行ハレザルヲ以テ、其ノ人選ニ際シテモ技術的訓練ニ最モ重キヲ置クモ、中央統一制ヲ採用セル國ニ於テハ職務ノ分擔行ハレ、技術的方面ノ監督ニハ上級監督官之ニ當リ、普通ノ監督官ハ單ニ法規ノ執行ニ任ズルニ過ギザルガ故ニ、技術的方面ニ關スル完全ナル知識ヲ必要トセス、例ヘバ獨逸ニ於テハ各監督官ハ英國如キ上級監督官ヲ有セザルヲ以テ、自ラ監督ニ關スル一切ノ事項ヲ處理セザルベカラザルヨリ、監督事項中最モ困難ニシテ然カモ最モ重要ナル技術的方面ニ關スル完全ナル知識ヲ採用條件ノ一トナスモ、英國ニ於テハ然ラザルガ如キ是レナリ。

尙ホ工場監督官ノ員數ニ關シテハ從來各國ニ於テ其ノ數ノ過少ニ失スルノ非難ナキニ非ズト雖ドモ適當ナル員數ノ決定ハ頗ル困難ナル問題ニシテ、殆ンド其ノ標準ヲ發見スルコト能ハズ、

蓋シ工場監督ノ任務ハ其ノ性質上極メテ複雑セルノミナラズ、時ト所トニ應ジテ繁簡ノ度又一様ナラザルガ故ニ、一監督官ノ擔任シ得ベキ職務ノ分量ヲ豫測シテ、其ノ員數ノ標準ヲ定ムルコト難キ事情アルヲ以テナリ、故ニ獨逸ノ如キハ既ニ述ベタルガ如ク保險監督機關及警察機關ヲシテ工場監督ノ職務ヲ適宜補佐セシムルノ方針ヲ探リ、又英國ニ於テハ地方衛生吏員ヲシテ之ヲ補佐セシメ、瑞西ニ於テハ聯邦監督官ハ各州監督官ノ援助ヲ受クルコトニ依リテ員數ノ不足ヲ補ヒツツアリ。(未完)